



ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用

みなさんと議会を結ぶ情報誌

# 議会だより

第34号

平成26年11月5日発行

# さ よ う



## 笑顔いっぱい

もぐじ

- ・ 第61回定例会開催 ..... 2~5
- ・ 決算特別委員会報告 ..... 6~10
- ・ 佐用町のここが聞きたい ..... 11~20
- ・ 委員会・組合議会報告 ..... 21
- ・ 議会の予定・編集後記 ..... 22

# 子育てしやすい まちづくりをめざして



## 条例制定

- ① 家庭的保育事業等の設備及び運営基準
- ② 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準
- ③ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営基準

月地域保育園新築工事等請負契約の締結が3件、平成26年度一般会計および6特別会計の補正予算が提案され、すべて原案どおり可決されました。平成25年度一般会計および13特別会計並びに水道事業会計歳入歳出決算については、全議員で構成する決算特別委員会で慎重に審査し、すべての会計が認定されました。任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任は、提案された4の方を同意しました。

また、2件の請願のうち「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する件」は採択され、議員発議による同意見書は可決されました。「消費税増税中止を求める請願」は不採択となりました。

一般質問には9人の議員が登壇し、農業・林業振興、地域防災、防犯、人材育成等、活発な議論が展開されました。

## 議決案件

### 子どもたちのため に新たな条例制定



□家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準  
を定める条例制定

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、家庭的保育事業等の許認可等が町の権限とされることから、その設備及び運営の基準を定めるものです。

反対討論  
平岡きぬゑ 議員

子どもを理由に、保育者の資格要件の緩和などが盛り込まれ、その結果、施設・事業によって保育に格差が持ち込まれるものとなっている。

職員について、子ども

□特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、家庭的保育事業等の許認可等

賛成討論  
加古原瑞樹 議員

議案第57号同様に、各自治体が運営基準等を定める必要があり、これによつて適切な内容で特定

教育・保育や特定地域型

保育が提供され、多くの

子どもたちが健やかに成長するための環境が確保

第61回定例会は、9月8日から30日までの23日間の会期で開かれました。

今回は、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の制定等4件、上

月地域保育園新築工事等請負契約の締結が3件、平成26年度一般会計および6特別会計の補正予算が提案され、すべて原案どおり可決されました。平成

25年度一般会計および13特別会計並びに水道事業会計歳入歳出決算について

は、全議員で構成する決算特別委員会で慎重に審査し、すべての会計が認定されました。任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任は、提案さ

れた4人の方を同意しました。

また、2件の請願のうち「少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費

国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意

見書採択の要請に関する件」は採択され、議員発議による同意見書は可決さ

れました。「消費税増税中止を求める請願」は不採択となりました。

一般質問には9人の議員が登壇し、農業・林業振興、地域防災、防犯、人

材育成等、活発な議論が展開されました。

## 賛成討論

加古原瑞樹 議員

来年4月からスタートする「子ども・子育て支援制度」の施行に備え

て、各自治体が家庭的保育事業など地域型保育事

業の認可基準等を定める

必要がある。

さらに、今回新たに設けられる「家庭的保育事

業」「小規模保育事業」「居宅訪問型保育事業」「事業所内保育事業」等への公的支援が充実され

ることにより、在宅での子育てなど全ての一コースに対応できるものとな

る。

## 反対討論

平岡きぬゑ 議員

法改正により保育の市場化に道が開かれることになる。

保育料以外の実費及び上乗せ徴収は、原則自由となり、公的な保育制度

に保育以外の上乗せ徴収を認めるべきではない。

国の基準は、すべての子供たちに必要な保育を保障する点からも、子どもの権利保障という点からも、町の責任後退につ

ながり問題だ。その基準をそのまま町の基準として定めることに反対。

# 林業再生に向け 高性能機械導入へ 森林組合を支援



新たな希望を のせて	
□工事請負契約の締結	本条例が引用する「中 國残留邦人等の円滑な帰 国の促進及び永住帰国後 の自立の支援に関する法 律」の名称が改正される ことによる改正です。
上月・久崎・幕山保育 園統合に伴う、上月地域 公園新築工事請負契約 を締結しました。	上月・久崎・幕山保育 園統合に伴う、上月地域 公園新築工事請負契約 を締結しました。
・契約先 (株)春名建設	・契約先 (株)大給組
32万8800円	8964万円



## □町営住宅条例の一部改 正

本条例が引用する「中國  
残留邦人等の円滑な帰  
国の促進及び永住帰国後  
の自立の支援に関する法  
律」の名称が改正される  
ことによる改正です。

・契約額 2億5326 万円
（塩川橋）橋梁下部工工 事の請負契約を締結しま した。

歳入歳出予算の総額に  
歳入歳出それぞれ1億2  
289万2千円を追加  
し、予算総額を歳入歳出  
それぞれ131億514  
4万円としました。



瓜生原邸（平福）  
地域活性化事業に  
供するため厨房備  
品などを購入

## 平成26年度一般会計補正予算額(歳出)

(単位:千円)

予算費目(款)	補正額	主たる要因
一 般 会 計	122,892	
内 訳	議 会 費	295 職員異動による人件費
	総 務 費	1,352 光ケーブル加入端末装置購入費
	民 生 費	12,004 さよさよサービス車両更新費
	衛 生 費	14,682 電気自動車急速充電器整備費
	農林水産業費	32,869 高性能林業機械整備事業補助金
	商 工 費	12,443 ひまわり祭り会場整備費
	土 木 費	11,444 橋梁工事県委託料
	消 防 費	814 消防団装備整備費
	教 育 費	13,219 瓜生原邸地域活性化備品購入費
	災 害 復 旧 費	15,400 農林・土木災害復旧費
諸 支 出 金	8,370 災害復興基金積立金	



電気自動車の普及  
を図るため、町内  
2カ所に急速充電  
器を設置

## 施策の推進に向けて 平成26年度補正予算

平成26年度補正予算

## 平成26年度(9月) 補正予算額(歳出)

(単位:千円)

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	122,892	13,151,440
特別会計	メガソーラー事業収入	※支出区分のみ変更 0
	介護保険	10,185
	朝霧園	2,816
	特定環境保全公共下水道事業	1,092
	西はりま天文台公園	3,904
	農業共済事業	63

電算システム設定および  
施設修繕料27万3千円等  
を追加するもの。

充てるため、予備費の5  
〇〇万円を諸支出金に変  
更するもの。

## □介護保険特別会計

## □西はりま天文台公園

## □朝霧園特別会計

## □農業共済事業特別会計



▲グループ用ロッジ

表1 健全化判断比率

(単位: %)

区分	平成25年度決算	早期健全化基準	財政再生基準	備考
① 実質赤字比率	-	13.51	20.00	実質赤字額なし (実質黒字比率 0.48)
② 連結実質赤字比率	-	18.51	30.00	実質赤字額なし (実質黒字比率 7.46)
③ 実質公債費比率	11.8	25.0	35.0	
④ 将来負担比率	34.9	350.0		

表2 資金不足比率

(単位: %)

特別会計の名称	平成25年度決算	経営健全化基準	備考
水道事業会計	-	20.0	資金不足額なし
農業共済事業特別会計	-	20.0	資金不足額なし
簡易水道事業特別会計	-	20.0	資金不足額なし
特定環境保全公共下水道事業特別会計	-	20.0	資金不足額なし
生活排水処理事業特別会計	-	20.0	資金不足額なし
笹ヶ丘荘特別会計	-	20.0	資金不足額なし
宅地造成事業特別会計	-	20.0	資金不足額なし

全化に関する法律の規定により、平成25年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率について報告されました。健全化判断比率(表1)は、早期健全化基準以下であり、資金不足比率(表

## 報告

2)は、すべての会計に資金不足は発生していません。

## □教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検

「消費税増税中止を求める請願」は不採択となりました。

## ことばの解説

③実質公債費比率 借入金の返済額、およびこれに準ずる額の大きさを表し、資金繰りの危険度を示します。

④将来負担比率 一般会計の借金などの残額の程度を指標化し、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示します。

これは、3人の外部評議員に教育に関する21項目の基本施策、57項目の具体的な施策および38項目の事務事業の取り組み状況を提示し、その進捗状況と成果・課題等についての意見を評議書として取りまとめたものです。

少子高齢化が進む中で、国民が安心して暮らすためには認めざるを得ないと考える。

## 反対討論

西岡 正 議員

## 請願

●「少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願」は採択されました。

## 発議

□請願の採択を受け、議員発議による「少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度の2分の1復元を求める意見書」を可決しました。

## 同意

固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

●「消費税増税中止を求める請願」は採択されました。

大橋正毅氏(横坂)  
谷本正英氏(上月)  
春名満氏(漆野)  
春國靖夫氏(三日月)

# 第61回(9月)定例会 こんなことが決まりました

※印は各常任委員会に付託され、委員会で審査した案件

議案番号	件名	審議結果	
報告第5号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告	「報告」は質疑を行いますが、討論・採決はありません。	
報告第6号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等		
発議第4号	少人数学級の推進など定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書（案）	賛成全員	可決
議案第56号	工事請負契約の変更（佐用町庁舎増築等工事）	賛成全員	可決
議案第57号	佐用町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 ※	賛成多数	可決
議案第58号	佐用町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定 ※	賛成多数	可決
議案第59号	佐用町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定 ※	賛成全員	可決
議案第60号	佐用町営住宅条例の一部を改正する条例	賛成全員	可決
議案第61号	平成26年度佐用町一般会計補正予算案（第2号）	賛成全員	可決
議案第62号	平成26年度佐用町メガソーラー事業収入特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員	可決
議案第63号	平成26年度佐用町介護保険特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員	可決
議案第64号	平成26年度佐用町朝霧園特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員	可決
議案第65号	平成26年度佐用町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員	可決
議案第66号	平成26年度佐用町西はりま天文台公園特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員	可決
議案第67号	平成26年度佐用町農業共済事業特別会計補正予算案（第1号）	賛成全員	可決
議案第68号	工事請負契約の締結（[仮称]上月地域保育園新築工事）	賛成全員	可決
議案第69号	工事請負契約の締結（町道大願寺本位田線[塩川橋]橋梁下部工工事）	賛成全員	可決
認定第1号	平成25年度佐用町一般会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成多数	認定
認定第2号	平成25年度佐用町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成多数	認定
認定第3号	平成25年度佐用町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成多数	認定
認定第4号	平成25年度佐用町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成多数	認定
認定第5号	平成25年度佐用町朝霧園特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第6号	平成25年度佐用町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第7号	平成25年度佐用町特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第8号	平成25年度佐用町生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第9号	平成25年度佐用町西はりま天文台公園特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第10号	平成25年度佐用町笹ヶ丘荘特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第11号	平成25年度佐用町歯科保健特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第12号	平成25年度佐用町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第13号	平成25年度佐用町石井財産区特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第14号	平成25年度佐用町農業共済事業特別会計歳入歳出決算の認定 ※	賛成全員	認定
認定第15号	平成25年度佐用町水道事業会計決算の認定 ※	賛成全員	認定
同意第3号	佐用町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	賛成全員	同意
同意第4号	佐用町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	賛成全員	同意
同意第5号	佐用町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	賛成全員	同意
同意第6号	佐用町固定資産評価審査委員会委員の選任同意	賛成全員	同意
請願第2号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する件	賛成全員	採択
請願第3号	消費税増税中止を求める請願	賛成少數	不採択

## ことばの解説

- 決算の認定 町民福祉の向上のためにどのように施策が展開され、予算執行が適切かつ効率的であったかについて、議会が町の決算を審査し、認定することをいいます。佐用町議会では、次年度の予算編成に決算の審査内容を反映させるため9月定例会で行っています。
- 請願 議会に対し、町の仕事に関することや地域の身近な問題について、文書で希望を述べることをいいます。請願には必ずその請願内容の趣旨に賛同する紹介議員の署名が必要です。なお、議員の紹介のないものを陳情といいます。
- 意見書 町では対応できない重要な事項について、議会としての考え方や意思を意見としてまとめた文書のことをいいます。各議員から提出された意見書は、本会議で可決されたのち、地方自治法（第99条）に基づき意見書として国等の関係機関へ提出します。

## 決算特別委員会報告



9月9・10日の両日、全議員で構成する決算特別委員会を開催しました。

平成25年度一般会計と13特別会計、水道事業会計決算を審議しましたので決算審議での主な質疑と本会議での討論などを報告します。

委員長 平岡 きぬゑ  
副委員長 加古原 瑞樹

# さらに前進

一般会計 **歳入 138億 7459万9875円**  
**歳出 137億 8159万0010円**

## 決算監査報告

魅力あるまちづくりに向けて



代表監査委員 横本忠美

平成25年度の日本経済は、前半は第二次安倍内閣の「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」により、円高の是正や株価の回復で輸出が持ち直した。後半は緊急経済対策による公共投資の拡大や、本年4月に実施された消費増税前の駆け込み需要により個人消費や住宅投資が下支えとなり、景気は緩やかな回復を続けた。しかし、現時点では中小企業や個人所得への影響を実感するまでには至らず、地方自治体の財政も依然として厳しい状況が続くものと思われる。

そのような中、佐用町の平成25年度の決算における実質収支は4245万9千円の黒字となった。これは、年々、自主財源や地方交付税が減少するなかにあって、歳出削減に努めた結果であり、また、起債の繰上償還や財政調整基金への積立てなど、中長期的な財政運営を視野に入れた堅実な取り組みを行っていることは評価したい。

なお、個別の留意点を次のとおり指摘した。

- ①効果的な事業執行
- ②未収債権の管理及び回収
- ③指定管理者制度の適正管理
- ④学校・保育園跡地の利活用
- ⑤公共施設の適正管理

佐用町においては、少子高齢化による社会保障費の増大、合併後増えた公共施設の維持管理費、森林資源の活用による林業の再生、学校・保育園統廃合による跡地の利活用など人口減少問題と併せて難題が山積する。

今後も行政運営にあたっては、これら課題に優先的に取り組むとともに、社会・経済の構造変化に柔軟に対応した事業の選択を行い、より一層効率的・効果的な行政運営を進め、健全な財政基盤の確立に努められ、歳出・歳入それぞれに創意工夫をこらし、人口減少の危機の中にあっても発想を転換し、強靭な財政基盤の確立とともに魅力あるまちづくりを推進されたい。

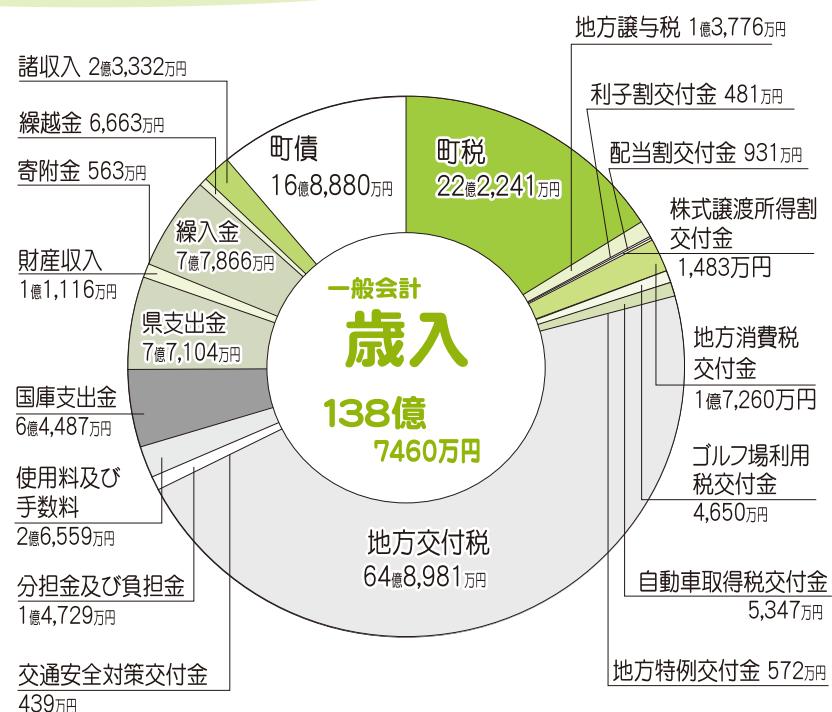
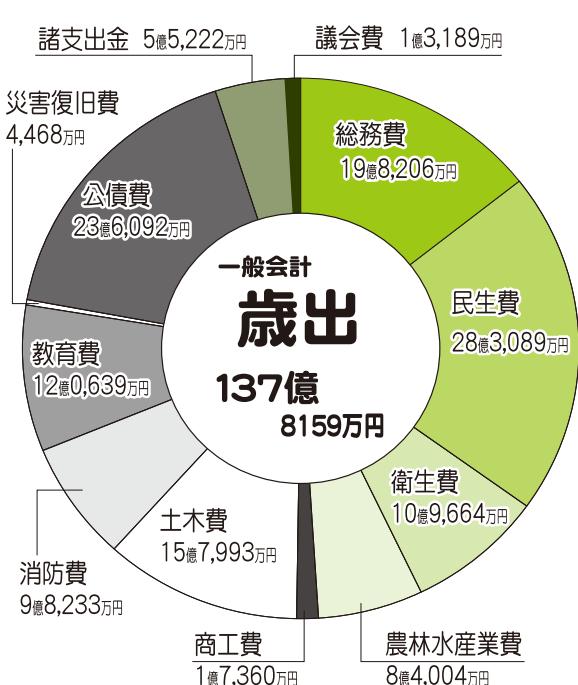


平成25年度各会計決算額(歳出) (単位 千円)	
会計名	金額
一般会計	13,781,590
特別会計	国民健康保険
	後期高齢者医療
	介護保険
	(サービス事業勘定)
	朝霧園
	簡易水道事業
	特定環境保全公共下水道事業
	生活排水処理事業
	西はりま天文台公園
	笠ヶ丘荘
	歯科保健
	宅地造成事業
	石井財産区
	農業共済事業
	水道事業会計

# 健全財政へ

25年度決算認定

## 一般会計決算額



## ・主な質疑と討論

問 地域の元気臨時交付金	財産に関する調書
	問 公公用財産の決算年度中の増減について。

答 佐用小学校スクールバス駐車場用地の取得。

問 江川小学校・中安小学校の閉校や長谷保育園・石井保育園・江川保育園の閉園に伴い普通財産への変更など。

金について。

答 上月体育館のトップライト修繕費2000万円と、笹ヶ丘公園の駐車場整備に1247万4千円を充当した。



▲災害記録誌(こころの輪)

## 一般会計歳入

### 町税

問 町税の滞納繰越しについて。また回収の状況は前年と比べどうか。

答 滞納繰越しは2527万円で徴収率は32.6%で前年に比べて2.8%増となっている。今後も分納計画を立てて徴収に取り組む。

答 上月体育館のトップライト修繕費2000万円と、笹ヶ丘公園の駐車場整備に1247万4千円を充当した。

金について。

答 上月体育館のトップライト修繕費2000万円と、笹ヶ丘公園の駐車場整備に1247万4千円を充当した。

## 一般会計歳出

### 総務費

問 土砂災害情報相互通報システム整備事業についての説明を。

答 県から発信される土砂災害警戒情報を自主放送するためのシステムを整備した。佐用チャンネルで河川情報とあわせて情報提供している。

答 上月体育館のトップライト修繕費2000万円と、笹ヶ丘公園の駐車場整備に1247万4千円を充当した。

金について。

答 上月体育館のトップライト修繕費2000万円と、笹ヶ丘公園の駐車場整備に1247万4千円を充当した。

### 民生費

問 学童保育事業委託料について、利用者数と送迎方法は。

答 通常は45人で夏季休暇中は60人が利用している。傾向としては増えている。利神、上月、幕山はスクールバス、それ以外は民間のバスやタクシーを利用している。帰りは保護者が迎えに来られる。



▲利神保育園

### 衛生費

問 にしほりま環境事務組合負担金が前年度より下がっている要因は。

答 資源化ごみ等を買い取りしてもらい相殺しているため。

答 間伐に対する助成金や、森林組合の作業効率強化を図るための高性能林業機械購入の計画も盛り込み、森林資源活用計画を策定するにあたって広く関心を持つてもらうよう努める。



▲新規購入したゴミ収集車

### 農林水産業費

問 有害鳥獣駆除対策について。

答 猪・シカ共に1頭あたり銃器で捕獲した場合1万6千円、罠で捕獲した場合8千円を補助している。捕獲頭数はシカが

### 商工費

問 利神城跡石垣整備委託料について説明を。

答 石垣の枝打ちや下刈作業を平福財産区に委託した。また、利神城の国指定化は具体的な申請ができるよう進めている。

答 間伐に対する助成金や、森林組合の作業効率強化を図るための高性能林業機械購入の計画も盛り込み、森林資源活用計画を策定するにあたって広く関心を持つてもらうよう努める。



▲急傾斜地防護壁

問 播磨科学公園都市消防委託料について今後はどうするか。

答 播磨科学公園都市内

問 急傾斜地崩壊対策事業負担金について、対象地の選択基準は。また、今年度施工場所は。

答 対象戸数が8戸程度だが、県道、国道、公共施設があれば変わる。今年度は平福「特別養護老人ホーム」、林崎「ハイム・ゾ

ンネ、シャイン」、佐用「浩陽園」、西下野「南光園」といった弱者施設を重点的に整備している。

問 森林資源活用計画調査委託料について、成果をどう考えるか。

答 西はりま消防の分署を公

園都市内に置くことで、矛盾を解消するよう協議を進めている。

問 地域の元気臨時交付金

答 佐用小学校スクールバス駐車場用地の取得。

問 江川小学校・中安小学校の閉校や長谷保育園・石井保育園・江川保育園の閉園に伴い普通財産への変更など。

答 佐用小学校スクールバス駐車場用地の取得。

## 討論

反対討論

金谷英志 議員

庁舎増改築にあたっての用地・建物の買収金額は、不動産鑑定士が評価しない不適正なもの。

保育料の軽減や学校給食の地元産食材の使用拡大と無料化、また、子供の医療費無料化年齢の引き上げ、教材費など学費への助成がされていない。

農業では農業特産品の育成を強め、放棄田対策など実効性のある農業振興への取り組みが必要だった。

子育て支援、産業の振興に不十分な決算である。

地方においては、経済成長がまだ実感されない中でも、実質収支4250万円の黒字とし、財政運営にも努力している。

## 討論

反対討論

金谷英志 議員

大型メガソーラー事業に着手し自主財源の確保に努め、子どもたちの将来を見据えた学校・園の適正化の実行や、森林資源活用計画を策定し林業振興に本格的に取り組むなど、21年災害からの復興の兆しがうかがえる決算となっている。

## 特別会計

国民健康保険

問 特定健診

問 特定健診委託費について前年度より減額になっているが、どのような取り組みをしたのか。

答 がん検診とあわせて検診を行ったり呼びかけをしている。防災無線や広報でも周知している。

問 特定健診の予防、早期発見、早期治療、重症化予防となり、国保会計からの支出削減にもつながる。この健康診断体制の強化に取り組むべきであつた。

答 がん検診とあわせて検診を行ったり呼びかけをしている。防災無線や広報でも周知している。

賛成討論  
岡本安夫 議員  
25年国保会計は、昨年度と比較して保険給付費で730万円の増加があり、会計の運用においては相当の苦慮が見られる決算となっている。

年金は削減される一方、制度発足以来、保険料は1億8100万円も行い、加入者の負担軽減に努めながら実質収支においては3200万円の黒字とするなど、十分認定に値する内容となっている。

また、これに対して一般会計からの繰り入れは1億8100万円も行い、加入者の負担軽減に努めながら実質収支においては3200万円の黒字とするなど、十分認定に値する内容となっている。

年金は削減される一方、制度発足以来、保険料は額保険料の据え置きは高齢者にとって死活問題であることなどを指摘して反対する。

義的には国庫支出金の増額が求められるが、要介護状態にならない介護予防施策の推進と一般会計からの繰り入れで、高齢者の負担軽減に真摯に取り組むべきであった。

年金は削減される一方、制度発足以来、保険料は額保険料の据え置きは高齢者にとって死活問題であることなどを指摘して反対する。

## 介護保険

問 前年度にない雑入があるが内容は。

答 配食サービスの負担と加入者の増減は。

問 360万円の減額の要因と加入者の増減は。

答 25年度末で減免の状況は3872人の被保険者数で、増加している。

問 保険料について、約360万円の減額の要因と加入者の増減は。

答 25年度末で減免の状況は3872人の被保険者数で、増加している。

問 保険料について、約360万円の減額の要因と加入者の増減は。

答 25年度末で減免の状況は3872人の被保険者数で、増加している。

## 討論

金谷英志 議員

後期高齢者医療広域連合議会で町長は、保険料の引き下げ、県独自の減免制度の創設、医療費の一部負担無料化などを求めた請願に反対し、加入者の負担軽減に背を向けてある。

介護保険料は第5期事業計画により42%も引き上げが行われたため、兵庫県平均の月額基準の4998円を超えてしまった。年金が引き下げられた。年金が引き下げられる中、高齢者の負担は深刻である。

年金は削減される一方、制度発足以来、保険料は額が求められるが、要介護状態にならない介護予防施策の推進と一般会計からの繰り入れで、高齢者の負担軽減に真摯に取り組むべきであった。

## 農業共済事業

問 家畜共済勘定が対前年で約1200万円の減額はなぜか。

答 金を歳入に入れてから社協に委託料として払うよう変更したため。

問 家畜共済勘定が対前年で約1200万円の減額はなぜか。

答 25年度は198頭死亡しているが、2000頭以上いるため病気の流行等、死亡要因は特定しにくく。

問 家畜共済勘定が対前年で約1200万円の減額はなぜか。

答 25年度は198頭死亡しているが、2000頭以上いるため病気の流行等、死亡要因は特定しにくく。

## 討論

金谷英志 議員

後期高齢者医療広域連合議会で町長は、保険料の引き下げ、県独自の減免制度の創設、医療費の一部負担無料化などを求めた請願に反対し、加入者の負担軽減に背を向けてある。

介護保険料は第5期事業計画により42%も引き上げが行われたため、兵庫県平均の月額基準の4998円を超えてしまった。年金が引き下げられる中、高齢者の負担は深刻である。

保険料の引き下げは、一



▲健康な佐用の牛



# 25年度 主な事業

こんなことにも使われたヨ



▲ 携帯電話電波不感地域解消のためアンテナ設置（淀）



▲ 防災行政無線デジタル化に伴う戸別受信機の更新（全町）



▲ ホタルドームのトップライトをLEDに更新（上月）



▲ 土砂流出防止のため荒廃渓流を整備（三日月ほか）



▲ 生きがいづくりのため高年大学を充実（南光ほか）



▲ 福祉拠点施設「ほっとちゃん」に多目的室を整備（南広）

# 佐用町のここが聞きたい!

9人の議員がまちの将来を  
ただしました

## 一般質問とは

一般質問は、議員が町の行政全般にわたって、疑問点をただし、町長・教育長から回答を求めるものです。

事前に質問の要旨を書いた通告書を議長に提出します。

一般質問は年4回開催される定例会で行われ、臨時会では行われません。

※一般質問の記事は、質問をした議員本人の原稿に基づいています。

質問議員	掲載ページ	質問通告内容
竹内日出夫	12	①町独自の奨学金の創設について ②犯罪のない町づくりについて
石堂 基	13	①「メガソーラー事業」による収益活用と今後の地域展開について ②里山等小規模対象の森林整備事業助成について
千種 和英	14	①佐用町南光ひまわり祭りについて ②次世代を担う人材の育成について
廣利 一志	15	①森林資源計画について全町的な議論が今こそ必要では
山本 幹雄	16	①河床の浚渫について ②危険廃屋について ③佐用駅の改修は
岡本 義次	17	①ふるさと応援寄付金 ②空家の撤去の支援について ③消防・防火用水について
平岡きぬゑ	18	①来年度から実施予定の「子ども子育て支援制度」は、充分な議論をつくし、保育を充実すること ②教育委員会法改定が6月にされたが、佐用町の教育は子どもの学び成長する権利を保障したものになるのか
金谷 英志	19	①政府農業「改革」案への見解と本町農業政策を問う ②介護保険見直しでサービス後退にならないか
加古原瑞樹	20	①地域防災について

## 議会を傍聴してみませんか

議会はどなたでも傍聴できます。議員と町長のやり取りを間近でご覧ください。なお、一般質問の模様は佐用チャンネルでも生中継しています。

一般質問は、一つの質問ごとに議員と町長等の間で質問・答弁を繰り返し、町政をただしていく形式。(一問一答方式)

傍聴を希望される方は、3階議会事務局へお越しください。



## 若者が残れる雇用の場を確保せよ

### 町長——即効薬はない

**問** 経済的事情で子どもが進学を断念したり、高度な職業技術を磨く機会に恵まれていないケースが少なくない。

将来の保護費抑制のために、若者が佐用に生活基盤を持ち、定着する方策として、子どもへの進学支援が有効である。自宅から遠距離通学している高校生、大学生あるいは専門学校生への、経済的負担を軽減するため、町独自の低金利の奨学制度の創設はどうか。

**教育長** 赤穂市、相生市、宍粟市、たつの市には独自の奨学金制度があるが

滞納問題が多く発生している。町予算で補助金を計上することになり、町予算に影響を与えるため、現時点では県の制度や各種団体の制度を積極的に情報提供していく。

**問** 若者の定住策として、給付型奨学金、低金利奨学金あるいは所得連動型の奨学金制度の創設はどうか。

**町長** 所得の低い世帯の子どもに、町として何かできないか検討してきたが、対象の選択が困難である。延滞金問題もたくさんあり、町内で必要な優秀な人材として育成し



▲佐用駅、朝の通学風景



たけうちひでの  
竹内日出夫議員

**問** 犯罪のない町づくりのため、有効な防犯カメラの設置を提案する

ていくためには、限定ができるが支給することはできるが、職業選択などの問題もあり、限定することは難しい。

**問** 大阪の箕面市では、子どもの安全のため、全ての学校の通学路に750台の防犯カメラが新たに設置されることが報じられた。これは約70メートルに1台の防犯カメラの設置となるそうです。

そこで、今年4月に統合された学校については早急に、来年4月の統合についてはできる限り早く、効果的な防犯カメラを設置してはどうか。

**町長** 防犯カメラの設置は、犯罪の防止や犯罪捜査に有效であることは、充分認識している。

統合学校への設置は、活用度合いの進展もあり、今後の検討とする。



▲防犯カメラ

**町長** 必要により協議していく。犯罪の抑止力の強化を図るとともに、佐用警察署とも密接な連絡を取り合い、犯罪の防止に努めたい。

**問** 犯罪の抑止には、町内の要所要所に設置が必要であると思うがどうか。

**町長** 今後の設置については、犯罪の発生の懼れがあり必要であれば、佐用警察署の意見を伺いか。がら設置を考えてい。

**問** 点ではなく面で考え、効果的に防犯カメラを設置するため、近隣市町との話し合いはどうか。

**町長** 必要により協議していく。犯罪の抑止力の強化を図るとともに、佐用警察署とも密接な連絡を取り合い、犯罪の防止に努めたい。

## 「メガソーラー収益」の有効活用を求める!

町長－林業振興や子育て支援などを進めたい



いしどう もとい  
石堂 基 議員

**問** 現在工事が進められている、JCD(有限責任事業組合)による大規模太陽光発電事業は、本年度の事業開始となっているが、将来的な収益見込みはどうなっているのか。

**町長** 借入金の償還関係があるため一律にはならないが、20年間で約12億円を見込んでいます。

**問** 本年度においては、林業振興として町単独間伐補助金や高性能林業機械補助金が予定されているが、次年度以降の収益活用予定を示されたい。

**町長** 繼続的な収益が見ているのか。

**問** 各地域に増加してきた遊休農地や荒廃地を活用しての小規模発電事業に取り組むことはできないか。

**町長** 多面的な保全の観点から考えると有効な手段であり、JCDでの取り組みも可能性はある。ただし、農地法や周辺耕作地との関連があるため課題もあると思ひ。

**「林業産業化」のためにさらなる取り組みを**

められ、団地化された森林整備やこれに伴う事業の拡大が見えてきた。今後は中小規模の森林整備にも支援を考えて積極的な取り組みを進める必要があり、そのためにも「中

間貯木場」などを整備するべきではないか。

**町長** 里山林や私有林整備については、各種の支

**▲整備が進む太陽光発電施設**



**問** 森林整備に関する支援事業の推進にあたっては、経営計画の普及同様に、地域に対して積極的な提案を行い進めてほししい。



▲高性能林業機械の作業風景

## ひまわり祭りの成果と今後の取り組みは

### 町長——ブランド力の波及効果を目指す



▲盛況だったひまわり祭り

**問** 本町の観光資源としての大きな位置を占める、南光ひまわり祭りが開催された。本事業において伺いたい。本年度の入込客数及び近年の推移について。

**町長** 本年度の入込客数は約8万6700人(ひまわり畑全体では約11万3300人)で、年々増加傾向にあり、合併後最大の集客数であった。

**問** 事業の成果と課題について。

**町長** 入場料を値上げしたが、お客様の理解は得られた。町ホームページからの細やかな情報発信

により入込客数が増加した。

課題である道路渋滞に関する、情報の発信の関しても、情報の発信の展のテントの新調、暑さについて伺いたい。本年度の入込客数及び近年の推移について。

成果で若干の緩和ができた。他地域での取り組みとの差別化のため、物産展への効果も大きかった。

**問** 町内全体への関連効果について。

**町長** 佐用町の名前が広域的にPRされ、周辺施設への効果も大きかった。

対策のミストの設置を行った。

**問** 来年度以降の取り組みについて。

**町長** ひまわり畑への進入路の整備等施設面の改善を図る。また農業や周辺商業への波及効果を目指し、町商工会との連携や若手農業者の育成を行



▲町内で活躍中の若手グループ

**問** ひまわりは町花であるので町内各地で取り組めないのであるか。

**町長** 集約したほうが効果があるので考えていなさい。

し、広域的な事業にしたい。

**問** ひまわりは町花であるので町内各地で取り組めないのであるか。

**町長** 認識はしている。民間の若手商業者、若手農業者や、若手町職員との交流は将来に向けた大きな力になる。できる限りの支援はしたい。

**問** 具体的な支援は。定住促進に対する経済的な支援は考えていない。しかし、地域との交流や情報交換に関する方法を検討した上で取り組んでいきたい。

の若者の団体が定期的に訪れている。認識しているか。

**問** 宮栗市や西粟倉村と連携し、観光マップも作成

**次世代を担う人材育成を**

また、活動の場としての土地・空家・公共施設の提供等については可能であるし、活用してもらいたい。

## 森林組合の組合長兼務解消はいつか

町長－時期をみて専任を置く

### 策定委員会構成は

問 策定委員会には、消費者、女性はもちろん、公募委員も入っていないが。

町長 専門知識を持つたプロの方々の委員構成にしました。

備などを複合的に活用し、広葉樹林の整備を行つていただきたい。

問 広葉樹林の整備は民間が主体だが、行政・森林組合がリードすべきでは。

### 人工林同様に、広葉樹林対策は

問 計画は人工林が中心、広葉樹の間伐は。

### 薪ストーブ導入の補助・条例は

町長 計画では、広葉樹について詳細には書かれていません。人工林のみ補助金が出るため、人工林が中心になっている。当面は、県の里山防災林整備、野生生物の育成林整備

町長 当面は民間主体になるとと思う。木質バイオマス発電には、今後、森林組合が関与していくことも視野に入れている。

町長 進を。薪ストーブ導入に穴粟市で10万円、豊岡市で20万円の補助をしてい



▲薪(広葉樹を薪活用に)

安がある。

### 森林組合の営業力と体力強化は

問 森林組合の営業力強化は急務では。町長が組合長兼務では、トップ・セールスができないので

は。

町長 森林組合と行政の連携が必要。相応の時期に選任の組合長を置きたい。

町長 事務局長を置き、組合長の代理をさせている。

町長 今後も、生活の上では電気が主体である。木質バイオマス発電に、どれだけ供給できるか不



▲間伐で整備された森林



▲高性能機械(プロセッサー)

ひろかが かずし  
廣利 一志 議員

# 河床の浚渫予定は

しゅんせつ

## 町長——調査し対応をする

問 21年台風で河床に多くの土砂が堆積した。しかし、国・県の支援により多くの河床が浚渫されたり、川幅が拡幅されたりした。それでもまだ町内を見回した時、災害当

時と変わらない所がある。今後、浚渫をする計画はどうになっているか。

問 1千立方㍍の浚渫予定があるとのことだが、秋里川はまだまだ土砂も堆積したまま、8月末に地元の方が重機を入れて土砂取りをしていった。「堰の天場まで土砂がたまり水路に水がいかない。これでは稻を育てられない」とのこと。私もそ

う思った。

問 佐用駅は、水害に弱い形状で非常に水没やすい形になっている。

## 佐用駅の改修は

町長 21年台風では大きな災害となつたが、国・県の対応で堆積土砂の浚渫も行われた。今年は幕山川、桜山川、志文川で4千立方㍍の浚渫を予定している。県の工事予定は、場所は未定であるが1千

町長 秋里川の土砂取りを考えるべきではないか。できるだけ早く対応しなければならない地区がある。担当課で調査しながら対応する。



▲ 土砂が堆積した秋里川

やまもと みきお  
**山本 幹雄** 議員

## 危険廃屋の対応は

問 町内で危険と思われる家屋がある。通学路に面した危険廃屋について何か取り組むべきではないか。

町長 危険空き家になりは特に危険だ。行政として何か取り組むべきではないか。しかし、危険空き家であっても個人の財産であり行政が除却や修理をするということは困難である。

町長 以前からもっと使いやすい駅にという思いはある。これまでも2回以上駅が水没した。そして、乗降に不自由をきたす駅であることは認識している。改修の必要性は認識しているが、ホームの形状が問題でバリアフリー化は難しい。

問 佐用駅は、水害に弱い形状で非常に水没しやすい形になっている。そして、元気な方は良いがそうでない方にとって不便な駅となっている。

町長 姫新線の乗車人口300万人を目指す



▲ 佐用駅の乗降通路

言っている時に、乗降に不便な駅というのはいかがなものか、町長の考えがなるものか、町長の考えを伺う。



## ふるさと寄付金を増やす努力を

### 町長－佐用チャンネルで訴える



おかもと よしつぐ  
**岡本 義次 議員**

#### 空家の撤去支援について

**問** 今回の法改正で、地方にとって個人が申告にいかなくても、応援寄付金が、倍の金額を自分のふるさとに応援できるようになる。役場職員や議員の兄弟・子どもにもつとしてもらうようにして、役場課長を各村に出向かせ、町民にお願いに行かせて説明すべきである。

**町長** ホームページや公報、佐用チャンネルで呼びかけている。仮に、5千人の人が1万円応援すれば、5千万円の金額になる。ぜひ、目標をもってやるべきだ。

**問** 難しいことであるが、撤去の補助を検討すべきだ。

#### 消防・防火用水について

**問** 防火用水は役場のものか、誰が管理すべきか。柵垣の補助はどうか。

**町長** 個人の財産に行政が関与するのは法的にも難しい。宍粟市や小野市で条例制定しているが、管理に対する指導・勧告ができるもので、費用は所有者負担が原則である。

**問** あちこちに空き家が増え、古くなった家屋が倒壊すれば危ない。本来、個人がすべきものであるが、その家の方が亡くなったりとか、生活がやつとで取り壊しもできない方は、自治会長の願い文書で何割かの補助をすべきだ。

**町長** 町営住宅にある防火用水は町のもので、集落にあるものは集落のものである。柵垣は以前50%の補助をした。

**問** 幽霊消防と言う言葉を知っているか。操法や火事、水害や毎月の点検など何にも出てこない人がいると聞いたが、どのように把握しているか。

**町長** みな自主的に頑張ってもらっている。役場職員のように、出勤簿

#### 企画防災課長

各分団長

によく確認し、そういう人には退職してもらうとか、そういうことがないようにきちんとしていく

で把握していない。  
1回も出てこない人にも、5年いたら退職金を支払ったのか。過去にそういう事象があったのか。正直者がバカを見る世の中にしたらいいな。眞面目に勤めている方にはもっと多く出してよいと思うが、出てこない人には今まで退職金をやらなくてよい。担当課長として、今後どのようにするのか。



▲古くなった家屋



▲防火水槽

## 子育て支援計画で保育はどうなるか

### 町長——ニーズ調査をもとに作成する

**問** 平成27年度から保育、幼稚園、学童保育など、子育て支援にかかる制度の変更がされる。新制度移行は現行水準を後退させずに改善を求める。

① 国は、来年度から5歳児の保育料の無償化を明らかにしているがその対象者は。② 保育料軽減措置。③ 保育士の配置。④ 学童保育の計画。⑤ 子どもの減少を理由に保育施設の統廃合が進められているが「計画」との関係は。

**町長** 平成27年4月実施に向け平成25年10月か



▲三河校区ふれあい運動会



ひらおか  
平岡きぬゑ 議員

ら、子育て支援会議(保護者や保育園関係者など15人の委員)を開き「子ども子育て支援計画」5年間

(平成27年度から31年度)を策定する。

ニーズ調査は、未就学から小学6年生までの保護者1118人を対象に行い、899人(80.4%)

から回答があった。保育士は、国基準以上を配置している。

**健康福祉課長** ニーズ結果は、計画の方向性が見えた時点で公表したい。

来年度からの保育料も、軽減対策をとらたい。5歳児の無償化は国で

正式に決まりていない。

保育の認定基準について、町独自で認める

場合を活用し、育児休暇

中も上の子どもの保育は

継続する。

保育園の統廃合は適正化の中で行い、「計画」にはない。

教育課長 学童保育は、学校統廃合が完了したところから順次実施したい。

**町教育行政は子ども**の学び成長する権利を保障したものに

**問** 国の教育委員会法の改正は、佐用町の教育行政にどう影響するか。

は、教育委員長と教育長

改定は、佐用町の教育行

政にどう影響するか。

今回の法改正は、教育委員長と教育長

を一体化し、新教育長(任期3年)を町長が議会の

同意を得て直接任命す

る。町と教育委員会で総合教育会議を設ける。

**町長** 法改正は、町長部局の介入支配にはならな



▲マリア幼稚園での学童保育

## 農協解体への見解は

### 町長－役割に変わりはない



かなたに えいし  
**金谷 英志** 議員

**問** 農協は本町の農業政策でも補助機関的な役割を担っているが、政府改革案は、農業協同組合については全中の実質的廃止、全農の株式会社化、單位農協からの信用・共済事業の分離、代理店化を打ち出している。この農協解体ともいえる方針への見解はどうか。

**町長** 農協の統廃合が進んだ現在では、全中の存在意義は少なくなったと判断されたと考える。

株式会社化は単位農協の競争力の強化をめざすもので改革によつても役割に変わりはない。

**問** 本町では政府の制度を取り入れ、農地中間管理機構への農地の集約

や、多面的機能支払い制度に取り組んでいるが、これらの施策は本町の農業振興や荒廃遊休農地の解消に役立つか。

**町長** 十分とはいえないが、制度を活用することは全く無駄ということではない。どこまで有効か、という懸念はある。

農協の統廃合が進んだ現在では、全中の存在意義は少なくなったと判断されたと考える。

**町長** 農協の統廃合が進んだ現在では、全中の存在意義は少なくなったと判断されたと考える。

株式会社化は単位農協の競争力の強化をめざすもので改革によつても役割に変わりはない。

**問** 本町では政府の制度を取り入れ、農地中間管理機構への農地の集約

や、多面的機能支払い制度に取り組んでいるが、これらの施策は本町の農業振興や荒廃遊休農地の解消に役立つか。

**町長** 十分とはいえないが、制度を活用することは全く無駄ということではない。どこまで有効か、という懸念はある。

**問** 「総合事業」で要支援者への支援がボランティアなどに代替されれば訪問介護・通所介護の事業所は、利用者が減り影響が多大と見込まれるかどうか。

**町長** 既存の事業所には専門的なサービス提供が必要となるので、影響は多大とは考えていない。



▲ 農業振興に農協の役割はある

### 介護保険見直しでサービス後退や利用負担増にならないか

**問** 介護保険見直しで、生活支援総合事業」として代替するサービスが行われることになるが、この「総合事業」によってサービスの後退や利用者の負担増にはならないか。

**町長** 民間企業、ボランティアなど多様なサービスの提供が可能になるので、サービス後退や負担増にはならない。

**問** 「総合事業」で要支援者への支援がボランティアなどに代替されれば訪問介護・通所介護の事業所は、利用者が減り影響が多大と見込まれるかどうか。

**町長** 処遇改善のための報酬加算が行われている。今後は、国の動向を見て対応する。



▲ 地域介護を担うサンホームみかづき

## 地域防災力の強化を!

**町長** — 地域が一体となつて取り組む



▲ 防災マップづくり

**問** 佐用町防災計画の周知と実行状況はどうか。

**町長** ハザードマップだけでなく「我が家家の防災マニュアル」を全戸に配布したほか、地域づくり協議会の単位で、防災マップづくり実践講習会を開催している。

地域防災力強化のため、防災訓練の実施や防災資材等の購入補助制度を設けている。

### 学校防災計画について

**教育課長**

各学校において立地条件が異なるが対応はどうか。

**問**

通学方法や通学路の変更に伴う登下校路の安否確認はできているか。

**問**

震災により消火栓が使用できない可能性があるがどうか。

### 震災による火災への対策は

**教育課長** 年に2回職員、PTA、地域の方と総点検をしている。危険箇所は関係課や県に対して改善を希望している。

**町長** 河川改修に伴う消防水利の確保はどうか。

**町長** 消防車両が降りれるスロープや防火柵の設置、河川の両岸を深く掘るなど県に要望している。



▲ 防災訓練

かこはらみづき  
**加古原瑞樹 議員**

**町長** 初期消火には消火栓だけでなく、防火水槽や他の防火用水を利用する。消火栓も水道管の耐震化を随時進めているが、予算の関係上すぐにはできない。

**問** 防火水槽の維持管理には、人口減少や高齢化によって困難が予測されが今後の対応は。

**町長** 自治会や関係者の協議によって要望しても、「自助・共助・公助」のうい、町が支援していく。新規設置の場合は防火施設として2分の1助成制度を適用する。

**町長** 消防水利と消防水利とが、管理の状況はどうか。

**町長** ハード面だけでなく「自助・共助・公助」のうい、町が支援していく。全ての立場で防災意識を高める必要がある。

**農林振興課長** 大きいものは調査しているが、危険な箇所については地元と協議しながら対応している。

**問** 想定外の災害が多くなってきた、今「想定内の備え」ではなく「想定外の備え」を積極的にする必要があると考えるがどうか。

# 委員会・組合議会報告

## 定例会付託 案件審査

### 総務常任委員会

9 / 12

委員長  
小林裕和

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

児童福祉法の改正に伴い、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める必要があるため。

結果 全員賛成原案可決

## 産業厚生常任委員会

9 / 16

委員長  
石堂 基

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

平成27年4月からはじまる、子どもも子育て支援

新制度の施行にあたり、各町において家庭的保育事業などの地域型保育事

業の認可基準や施設型給付、それから地域型の保

育給付等の対象確認の基準を条例に定める必要が生じたものです。

## 委員会・組合議会

### 議会運営委員会

委員長  
矢内作夫

議会改革の運用を始めました

まし

定例会では、副議長の選任、一般会計歳入歳出決算の認定、監査委員の選任同意などを審議し、すべて原案通り可決されました。

本年3月に制定した「佐用町議会基本条例」に基づく、議会改革の具体的な実践が始まりました。

9月定例会からは、議会の効率的な運営のため、一般質問における議員質問時間の制限や町当局に対する反問権の付与、議会傍聴者のための

結果 賛成多数原案可決

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定

前件と同様に、平成27

結果 賛成多数原案可決

年4月からはじまる、子ども育て支援新制度の施行にあたり、各町において特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を条例に定める必要が生じたものであります。

閲覧用資料の充実などを始めました。今後は、12月議会から「議会報告・地域懇談会」の実施や議決賛否の公表、議員研修報告の充実、議員間討議の導入なども開始しますが、詳細については、今後の「議会だより」等でお知らせします。

## 播磨高原広域事務組合議会

### 第3回定例議会開催

平成26年8月12日、組合議会が開かれ、平成25年度の一般会計および上

下水道事業会計の決算を審議し、全議案を可決・

同意しました。

主な事業として、光都

チユーリップ園では、球根4万3千個を植え付け、2万4710人の入園者数がありました。

斎場管理運営費では、

6億4260万908円、

火葬件数は677件、う

ち佐用町は304件。

光都サッカー場の利用

者数は7万6165人で

した。

主な事業として、光都

チユーリップ園では、球

根4万3千個を植え付

け、2万4710人の入

園者数がありました。



▲8月20日、全議員が申山メガソーラー工事の進捗状況を視察しました。

## 12月定例会の予定

12月

おめでとうございます  
平成26年10月3日

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 8(月)本会議(議案上程)   | 総務大臣表彰      |
| 9(火)総務専任委員会     | (議長在職12年以上) |
| 10(水)産業厚生専任委員会  | 西岡 正 議員     |
| 16(火)本会議(質疑)    |             |
| 17(水)本会議(一般質問)  |             |
| 18(木)本会議(一般質問)  |             |
| 19(金)本会議(一般質問)  |             |
| 22(月)本会議(討論・採決) |             |

※一般質問の模様は佐用  
チャンネルで放映します。



▲ジビエの取り組みを紹介する加古原議員

7月17日、大阪府熊取町議会が災害復興の取り組みを、8月7日、愛媛県松山市議会が有害鳥獣の駆除とジビエの取り組みについて本町へ視察に来られました。



総務大臣表彰  
(議長在職12年以上)  
西岡 正 議員

## 表紙写真によせて

ひまわりっ子ママプラザ



きむら みなと きむら かのん  
木村 湊斗くん 木村 華乃音ちゃん  
(1歳0ヶ月) (3歳2ヶ月)

## 編集後記



今年の夏も暑かったが、佐用町の米の収穫は、8月の天候不順による3割の減収だと聞きました。わざと価格の下落により、農家は、燃料の高止まりもあり、厳しい年になりました。

一方、「ヤクハ」議員や「即泣議員」の出現により、地方議会には批判が相次ぎました。国政では、女性初の衆議院議長

12月議会は新しく議場で開催される予定です。ぜひ、議会の傍聴に来てください。

岡本 安夫



△編集作業をする広報委員

委員長 岡本安夫  
副委員長 千種和英  
委員 加古原瑞樹、小林裕和、廣利一志、  
竹内日出夫

年賀状はご遠慮させていただきます。  
私たち議員は、公職選挙法により町民のみなさん  
に時候のあいさつを出すことは禁じられています。  
どうぞ承くださるようよろしくお願いします。

加古原 瑞樹